

ショートメッセージ

2022年8月28日(日)「ダニエルは思慮と知恵とをもって」

暗唱聖句: 神の御名をたたえよ、世々としえに。知恵と力は神のもの。(ダニエル2:20)

ネブカドネツアルは、父ナボポラッサルからバビロン帝国を引き継ぎ、帝国が存在した70年の内44年間もの長期間に渡って国を統治しました。史上最強の専制君主の一人と言われ、首都バビロンを大規模に拡張し、二重の城壁で囲み、幹線道路を作り、神殿を多数設けました。また、メディアから嫁いできた妻アミュティスの郷愁を慰めるために建設した空中庭園は、古代世界の七不思議の一つに数えられています。

そのネブカドネツアルが即位して間もない頃、何度か夢を見て不安になり、眠れなくなりました。科学技術の発達した現代でも、夢には解明されていない部分が多くあります。悪い夢にうなされる、嫌な夢を見て目が覚めたので気分が悪いなど、みなさんも経験があるのではないのでしょうか？旧約聖書の時代には、夢を通して神さまから語りかけられることが多くありました。そして、王や権力者たちは、識者たちに夢の解き明かしを命じ、国を治める方法を模索しました。ですから、嫌な夢を見たときは、とても不安になりました。いつ敵が攻めて来て国を奪われるか…国が大きければ大きいほど、不安も大きくなります。そして、王というものは孤独です。いくら大勢の大臣や家来がいても、自分と同じ立場で、同じ責任を持っている人は誰もいません。最後は自分一人で決めなければなりません。不安が募れば、疑心暗鬼にもなります。自分の顔色を窺って、機嫌を取るような態度で接してくる人が、皆、裏切り者に見えてしまいます。

ネブカドネツアルは、夢の解き明かしを求めるだけではなく、夢そのものも言い当てるように言います。このことについては、様々な解釈があります。見た夢の内容を忘れてしまっていたのではないかという説や、夢を語れば、どこかの占いの本から意味を見つけて来て、それらしく答えるだけだろう、そのような薄っぺらな解き明かしは必要ないと思ったのではないかという説などです。

ネブカドネツアルは、「夢を言い当て、その解き明かしをしろ。しなければ重い罰を与える」と言います。大きな不安の渦に巻き込まれ、苦しんでいたネブカドネツアルは、自分の権力を用いて、脅すことで、何とかしようとするのです。それでも解決できないとわかると、バビロンの知者を皆殺しにするよう命じます。

落ち着いて考えれば、そのようなことをしても、何の解決にもならないことがわかります。それどころか、自分を助けてくれる知者を皆殺しにしてしまったら、その後、助言してくれる人もいなくなってしまうのです。それでも、こうせざるを得ないほど、ネブカドネツアルの心は、追い詰められていたのです。

自分に暴力を向けられたとき、私たちは、同じ様に暴力で返してしまうことが多くあります。叩かれたら叩き返す、怒鳴られたら怒鳴り返す…

しかし、ダニエルは、暴力に対して、思慮と知恵とをもって対応したのです。人間の力で何とかできるのではないとわかっていたので、神さまに祈り求めました。しかも、自分一人で何とかしようとせず、仲間のハナンヤ、ミシャエル、アザルヤにも一緒に祈ってほしいと頼みます。

神さまからの答えを与えられたダニエルは、ネブカドネツアルに解き明かしをします。その夢は、「金、銀、青銅、鉄など、様々な材料でできた像が、人の手によらずに切り出された石によって壊され、跡形もなくなくなり、その石は大きな山となって、全地に広がる」というものでした。それぞれの材料は国々を表し、石は神さまがこの世に送り出してくださったイエス・キリストを表します。つまり、私たち人間が戦って、領土を増やしたり、取られたりしていても、それらは全て神さまの御手の中にあるのです。「この王たちの時代に、天の神は一つの国を興されます。この国は永遠に滅びることなく、その主権は他の民の手に渡ることなく、すべての国を打ち滅ぼし、永遠に続きます。」(2:44)と書かれ

ているように、次々と国が興って滅びていく中、神の国が興り、それは全世界に広がり、永遠に続くのです。

夢の秘密を求めて祈り、その秘密が明かされたとき、ダニエルは、自分の命が助かったことを喜びよりも、主を賛美しました。ですから、王に語る時、偉そうに語ったのではなく、主の前にへりくだり、主の御用のために用いていただいているという謙虚な態度で語りました。

「お休みになって先々のことを思いめぐらしておられた王様に、神は秘密を明かし、将来起こるべきことを知らせようとなさったのです。その秘密がわたしに明かされたのは、命あるもののすべてにまさる知恵がわたしにあるからではなく、ただ王様にその解釈を申し上げ、王様が心にある思いをよく理解なさるようにお助けするためだったのです。」(2:29-30)と書かれているとおりです。

8月24日の聖書日課にもありますように、ファラオの夢の解き明かしをしたヨセフも、「お前は夢の解き明かしができるそうだが」と問われ、「わたしではありません。神がファラオの幸いについて告げられるのです。」(創世記 41:15-16)と答えていますね。

暴力に暴力で返されれば、ますます、頑なに、意固地になってしまいます。しかし、神さまから与えられた思慮と知恵によってダニエルの口から語られた真の主の言葉は、ネブカドネツアルの固くなった心を溶かしたのです。

- 分かち合い
- ・ 思慮と知恵を持って対応するために必要なことについて考えてみましょう。
- ・ 自分一人で祈るのではなく、誰かに共に祈ってもらったことはありますか？その時、その力を感じましたか？

(担当：Y.T.)



ショートメッセージは、教会ホームページから動画でも視聴できます。

左のQRコードを読み込むか、スマホ・PCからご覧の方は[こちら](#)をクリックしてください。

公開：8月25日(木)～